



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	29,146	45.9	10,572	100.6	10,941	104.7	6,770	99.0
2020年12月期第1四半期	19,982	△43.0	5,270	△59.5	5,345	△59.2	3,402	△59.9

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 7,992百万円 (162.9%) 2020年12月期第1四半期 3,040百万円 (△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	99.77	99.20
2020年12月期第1四半期	49.11	48.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	126,821	110,704	79.9
2020年12月期	122,257	104,727	78.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 101,339百万円 2020年12月期 96,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	95,210,316株	2020年12月期	95,210,316株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	27,350,012株	2020年12月期	27,349,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	67,861,522株	2020年12月期1Q	69,278,373株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・2021年5月14日（金）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書(第1四半期連結累計期間)	5
四半期連結包括利益計算書(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本におけるゲーム市場は、家庭用ゲームソフトの好調な販売とモバイルゲーム市場の緩やかな拡大に支えられ、2019年の国内ゲーム市場は前年比3.8%増加の1兆7,330億円*1となりました。

一方、世界におけるゲーム市場は、スマートフォンの普及拡大に加え、家庭用ゲーム市場やPCオンラインゲーム市場も成長を続け、2019年の世界ゲームコンテンツ市場は前年比19.1%増加の15兆6,898億円*1となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動全般が停滞し、一部では持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社では引き続き「新規価値の創造」に向けグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力すると共に、「既存価値の最大化」を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んできた結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前年同期比で増収増益となりました。

既存ゲームにつきまして、「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施し、MAUは引き続き堅調に推移いたしました。「パズドラ」は2021年2月20日に9周年を迎えたことから、9周年を記念した様々なイベントを実施し、2021年3月20日に国内累計5,700万ダウンロードを突破しております。「ラグナロク マスターズ」は、継続的なアップデート及びイベントの開催で、MAUは安定的に推移しております。

新規ゲームにつきまして、2020年6月25日*2にサービスを開始したNintendo Switch™向け対戦ニンジャガムアクションゲーム「ニンジャラ」は、コラボレーションイベントやオンライン大会の実施、新マップや新武器の実装、幅広いクロスメディア展開の実施、グッズの販売等、ユーザー層の拡大に取り組んでまいりました。

子会社の事業につきまして、GRAVITY Co., Ltd. 及びその連結子会社が配信している「Ragnarok M: Eternal Love」は継続的なアップデート及びイベントの開催によりMAUは引き続き安定的に推移しております。また、2020年7月7日に韓国でサービスを開始したスマートフォン向けゲーム「Ragnarok Origin」や、2020年10月15日に台湾、香港、マカオでサービスを開始した「Ragnarok X: Next Generation」も、好調な売上を継続しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は29,146百万円（前年同期比45.9%増）、営業利益10,572百万円（前年同期比100.6%増）、経常利益10,941百万円（前年同期比104.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,770百万円（前年同期比99.0%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1 ファミ通ゲーム白書2020

※2 日本標準時

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における資産合計は、126,821百万円（前連結会計年度末比4,563百万円増加）となりました。これは主に売掛金が増加したことによります。

負債合計は16,116百万円（前連結会計年度末比1,413百万円減少）となりました。これは主に法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は110,704百万円（前連結会計年度末比5,977百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,725	102,743
売掛金	9,801	13,730
有価証券	—	662
商品	2	2
仕掛品	115	69
その他	1,532	1,732
貸倒引当金	△55	△53
流動資産合計	114,120	118,886
固定資産		
有形固定資産合計	810	879
無形固定資産		
ソフトウェア	257	238
ソフトウェア仮勘定	961	1,045
その他	165	174
無形固定資産合計	1,384	1,458
投資その他の資産		
投資有価証券	55	59
繰延税金資産	2,876	2,484
その他	3,010	3,053
投資その他の資産合計	5,941	5,596
固定資産合計	8,136	7,934
資産合計	122,257	126,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,797	4,773
短期借入金	—	10
1年内返済予定の長期借入金	198	187
未払法人税等	4,973	3,373
賞与引当金	9	19
その他	7,221	6,533
流動負債合計	16,200	14,896
固定負債		
長期借入金	416	364
退職給付に係る負債	—	1
その他	913	852
固定負債合計	1,330	1,219
負債合計	17,530	16,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,488
利益剰余金	173,321	178,055
自己株式	△87,646	△87,644
株主資本合計	96,500	101,238
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21	100
その他の包括利益累計額合計	21	100
新株予約権	988	1,006
非支配株主持分	7,216	8,359
純資産合計	104,727	110,704
負債純資産合計	122,257	126,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	19,982	29,146
売上原価	9,156	12,194
売上総利益	10,825	16,951
販売費及び一般管理費	5,554	6,378
営業利益	5,270	10,572
営業外収益		
受取利息	33	23
為替差益	34	333
助成金収入	9	16
その他	11	5
営業外収益合計	88	379
営業外費用		
支払利息	6	4
自己株式取得費用	7	0
その他	0	5
営業外費用合計	13	10
経常利益	5,345	10,941
特別損失		
減損損失	36	—
特別損失合計	36	—
税金等調整前四半期純利益	5,309	10,941
法人税、住民税及び事業税	1,510	2,875
法人税等調整額	155	399
法人税等合計	1,665	3,275
四半期純利益	3,643	7,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	241	895
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,402	6,770

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	3,643	7,666
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△603	325
その他の包括利益合計	△603	325
四半期包括利益	3,040	7,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,050	6,849
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	1,142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。